

# 潮見っ子

芦屋市立潮見小学校



令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

校長 木下 新吾

本調査は各教育委員会や各学校が児童生徒の学力の一部や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善に役立てることを目的としています。

今年度の4月18日に6年生を対象として実施された調査結果の概要についてお知らせします。国語・算数とも全国平均正答率を上回る結果でした。芦屋市全体の状況につきましては、芦屋市のホームページをご覧ください。なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、教育活動の一面であること、今年度の6年生の傾向であり、学校全体の状況ではないことにご理解をお願いします。

## 1 教科に関する調査結果について

### (1) 全体的な概要

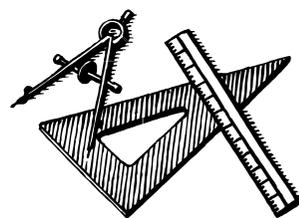
結果は、市の基準にもとづいて、全国平均正答率と比較したものです。

|    |      |    |
|----|------|----|
| 教科 | 国語   | 算数 |
| 結果 | 概ね良好 | 良好 |

※基礎的・基本的な知識を習得し、学習したことを活用する力が、身につけているといえます。

＜市の基準＞ 全国平均正答率を100として次のように表しています。

|   | 段階    | 状況         |
|---|-------|------------|
| 1 | 極めて良好 | 115以上      |
| 2 | 良好    | 105以上115未満 |
| 3 | 概ね良好  | 95以上105未満  |
| 4 | 課題あり  | 95未満       |



### (2) 国語の状況等

#### ア 状況

|              |      |      |                    |
|--------------|------|------|--------------------|
| 話すこと<br>聞くこと | 書くこと | 読むこと | 言葉の特徴や使い方に関する知識・技能 |
| 良好           | 概ね良好 | 概ね良好 | 概ね良好               |

#### 『成果』

◎話し合い活動において【話すこと・聞くこと】

- ・必要なことを質問しながら聞き、話の中心を捉えること。

- ・目的や意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめること

◎【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ・漢字を正しく使ったり、文章の種類と特徴を理解したりすること
- ・日常使われる敬語を理解していること

#### 『課題』

○【書くこと・読むこと】

- ・図、表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように書き方を工夫すること
- ・文章を読んで理解したことに基づき自分の考えをまとめること

#### イ 改善のポイント

自分の考えや伝えたいことをより明確にし、推敲するなどしながら書く活動を増やしたり、文章内容を整理し、自分の考えをまとめたり、要約したりするなどの活動を授業等で取り組んでいきます。

### (3) 算数の状況等

#### ア 状況

|      |       |       |        |
|------|-------|-------|--------|
| 数と計算 | 図形    | 変化と関係 | データの活用 |
| 良好   | 極めて良好 | 良好    | 良好     |

#### 『成果』

- ◎図形の意味や性質について正しく理解していること
- ◎伴って変わる2つの数量の関係に着目し、数の処理を考察すること

#### 『課題』

○計算の仕組みについて

- ・2位数÷1位数の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考えること

○割合について

- ・百分率で表された割合について正確に問題を解くこと

#### イ 改善のポイント

知識や理解したことをもとに、なぜそのような事象になるのかという意味まで考える授業を引き続き意識して取り組んでいくとともに、生活の中で実際に使われている具体的な例を取りあげながら学習を進めていきます。

裏面あり

## 2 児童質問紙の調査結果について

生活面や学習面について児童にアンケート形式で調査した結果を表しています。調査項目の中から27項目を抜粋して「している」「どちらかといえば、している」の項目を合わせたものを、全国平均と比較して記載しています。

(単位は%)

| 項目   | 本校   | 全国   |
|--|------|------|
| 1 朝食を毎日食べていますか。                                    | 91.9 | 93.9 |
| 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。                              | 77.8 | 81.0 |
| 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。                             | 89.9 | 90.5 |
| 4 自分には、良いところがあると思いますか。                             | 70.7 | 83.5 |
| 5 将来の夢や希望を持っていますか。                                 | 76.8 | 81.5 |
| 6 人が困っているときは、進んで助けていますか。                           | 81.9 | 91.6 |
| 7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。                    | 90.9 | 96.9 |
| 8 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。                             | 94.0 | 95.9 |
| 9 学校に行くのは楽しいと思いますか。                                | 78.8 | 85.3 |
| 10 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。                      | 62.6 | 76.5 |
| 11 友達関係に満足していますか。                                  | 79.8 | 90.3 |
| 12 新聞を読んでいますか。                                     | 13.2 | 12.6 |
| 13 読書は好きですか。                                       | 70.7 | 71.8 |
| 14 人が困っているときは、進んで助けていますか。                          | 81.9 | 91.6 |
| 15 学校の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。     | 89.9 | 95.2 |
| 16 今住んでいる地域の行事に参加していますか                            | 41.4 | 57.8 |
| 17 国語の勉強は、好きですか。                                   | 65.7 | 61.5 |
| 18 国語の授業の内容はよく分かりますか                               | 92.9 | 85.7 |
| 19 算数の勉強は、好きですか。                                   | 61.6 | 61.4 |
| 20 算数の授業の内容はよく分かりますか                               | 82.9 | 81.2 |
| 21 英語の勉強は、好きですか。                                   | 48.5 | 69.3 |
| 22 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業についたりしたいと思いますか          | 44.4 | 52.5 |
| 23 道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。 | 85.9 | 83.6 |

『調査結果を受けて』

- (1) ご家庭のご協力の下、朝食を毎日食べるなど規則正しい生活リズムについては、高い割合となっています。
- (2) 読書が好きな子どもたちの割合については、例年より少し低くなってきました。朝の読書タイム、授業中における読書活動などに加え、読み聞かせボランティアさんの力も借りながら、本に親しむ機会を積極的に作り、読書を通して子どもたちの学びを充実させていきます。
- (3) 違いを認め合える心、差別や偏見のない社会につながる大事な心の教育を進

めていきます。また、いじめはどんな理由があってもいけないと思う割合も高いことから、引き続き、人権意識をさらに高めていくような取り組みをしていきます。

- (4) 国語、算数の授業内容がよくわかる割合が高いです。学習への理解力が高いと考えられます。また、道徳の授業などで自分の考えを発展させ、自己の生き方についてさらに考えを深めるために、子ども同士の対話を多く取り入れながら、心豊かな子どもの育成に向けて取り組んでいきます。

## 5 おわりに

令和2年度より新型コロナウイルス感染症に伴う影響で体験活動も含めて仲間と共に学習する活動に一定の制限があった中での学校生活を送ってきた児童です。人とのかかわりについては希薄な状態にならざるを得ないまま3, 4, 5年生と過ごしてきました。人との「対話」からの「学び合い」を教育活動全体において実施していきたいと思えます。

なお、調査対象になった6年生の個人における教科学習の調査結果につきましては、既に配付しています。

また、芦屋市全体の状況については、芦屋市のホームページをご覧ください。